

事業所向け 事業所自己評価表【北風と太陽】

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係できせつであるか		○		事業所により広さに違いがあるが、療育内容や児童の特性に配慮し、物の配置や見守りの位置関係等を見極めながら適切に行えるよう工夫している
	②	職員の配置数は適切であるか		○		児童の特性によって全事業所協力し合い、日々配置を考えて療育を行っている
	③	事業所の設備等について、子どもにわかりやすい配慮がなされているか。またバリアフリー化の配慮が適切になされているか		○		バリアフリーへの配慮は十分ではないが、子どもたちにわかりやすい環境整備に努め、児童の目線に立って見える位置を考えたり、指示が分かりやすいよう配慮している
	④	清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また子ども達の活動に合わせた空間になっているか	○			日頃から整理整頓を心掛け、子どもたちが心地良く、安全に過ごせるよう配慮している
業務改善	⑤	業務改善を進めるための計画⇒実行⇒評価⇒改善(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			都度その場にいる職員で話し合ったりしているが、兼務職員やパート職員には、職員回覧ノートなどで回覧する方法を取っている
	⑥	保護者向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			アンケートの回収率が高く、保護者の意識が反映されている状況を踏まえて職員で結果を共有して業務改善につなげている
	⑦	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			毎年ホームページで公開している
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	外部評価は受けていないが、日頃から改善に努めている
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			コロナ禍でオンライン研修が主だが、社内の研修だけではなく外部講師も含めた幅広い研修を取り入れている
適切な 支援の 提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、 放課後等デイサービス 計画を作成しているか	○			保護者や関係機関との連携で得た情報、また職員間で意見を出し合い、子ども1人ひとりに合った支援ができるよう作成している
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			専門機関での発達検査の結果を保護者と共有し、支援の参考にさせていただいている
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○			問題や不具合が生じた際は速やかに対応できる準備をしている
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○			いつでも支援計画を確認できるよう、療育記録にも支援計画書を入れ、各職員が意識を持ち、支援に取り組んでいる
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			プログラム担当を決め、季節のイベント等を取り入れたり、必要に応じてチームで話し合いをしながら立案している
	⑮	活動プログラムが話し合いのもとで計画的に進められているか	○			季節感やその日に来所する児童の特徴、全体のバランスなど、配慮して計画的に進めている
	⑯	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか(放課後)		○		長期休暇は平日と変わらない活動が多いが、土曜日は療育時間が長い為、普段できない活動を積極的に取り入れている
	⑰	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ 放課後等デイサービス 計画を作成しているか	○			個別活動は個々のレベルに合わせた活動に配慮し、集団活動もバランスよく取り入れている
	⑱	支援開始前には職員間で必ず打合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			朝のミーティング時に必ず、その日の利用児童について必要な支援や連絡事項などを共有している
	⑲	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか		○		振り返りの時間は設けていないが、必要な共有事項はその都度話し合っている

	⑳	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援検証・改善につなげているか	○		出来る限り詳しく情報を記入するようにしたり、誰が見ても分かるように心がけており、特記欄に気になったことや、体調なども記入している	
	㉑	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○		個別支援計画に基づいて支援をしていながら、必要があれば都度見直しをしている	
	㉒	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援をおこなっているか(放課後)		○		
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	㉓	障がい児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか		○	相談支援事業所職員の見学を受け入れ、管理者・児発管が対応し、子どもの状況を共有しているが、コロナ禍でなかなか見学には来ていただけていない	
	㉔	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時間の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○		間違いがないよう職員間で確認、共有に努めています。変更があった場合も同様に周知している	
	㉕	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合、保護者のニーズがあった場合、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか			○	現在は該当しませんが、必要な場合は連携体制を整えていく
	㉖	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			必要に応じて職員が幼稚園等へ見学に行ったり電話で連絡を取りあったり、送迎時に担任と話をしたり、など、相互理解を深めている
	㉗	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行時、保護者の要望があった場合それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか			○	現在は該当しないが、必要な場合は対応する
	㉘	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			支援センターの相談員とお話をする機会がある。また、社内全体研修で講師の方をお呼びしたり、外部の研修へ参加している
	㉙	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか			○	そのような機会は現在ないが、交流する機会があったらしてみたいと思う
	㉚	(地域自立支援)協議会等の研修へ積極的に参加しているか			○	コロナ禍なので難しくはあるが、オンラインなど可能な限り参加している
	㉛	日頃から子どもの状況を保護者に伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			特に重要な内容と捉えて送迎時に療育の様子を伝えている。成長した面や今後の支援等、丁寧に説明するよう心掛けている
	㉜	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレントトレーニング等の支援を行っているか	○			連絡ノートを活用し、困り感や相談の記載があれば返事を書いている。要望があればその都度参観懇談を実施している
保護者への説明責任等	㉝	運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			見学・契約時を中心に送迎時も含めて説明を行っている
	㉞	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援の同意を得ているか	○			
	㉟	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			連絡ノートや送迎時に寄せられる相談に対し、スタッフ間で話し合い、適切に対応し助言と支援を行っている
	㊱	父母の会の活動を支援したり、保護者会や茶話会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○	交流の場を望まないという意見が多いため、現在は開催していない
	㊲	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			ご意見をいただいた際は、管理者が窓口となり対応させていただいている。ご意見は職員に周知しその都度改善点を話し合っている
	㊳	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか			○	定期的にお便りは発行していないが、行事のお知らせはその都度作成し発行している
	㊴	個人情報に十分注意しているか	○			事業所内の情報のみに限らず職員間の情報にも気を配っている
	㊵	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のために配慮をしているか	○			各児童や保護者(家庭)に合った対応をしている
	㊶	事業所の行事(ワークショップ)に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○	現在コロナ禍の為関係者以外の入室を許可していない

非常時等の対応	④2	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか		○		職員間で周知はしており、保護者から問い合わせがあった場合、対応できるようにしている。保護者への周知は今後改善していく
	④3	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			年3回定期的に訓練を開催している
	④4	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を把握しているか	○			アセスメントの時など必ず確認し、事業所内で共有している
	④5	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切に対応しているか	○			研修機会は必ず設けており、各職員にも意識付けるよう努めている
	④6	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			やむを得ない場合を想定し、事前に保護者への説明をした上で契約時の説明や、個別支援計画などに組み込み了承を得ている
	④7	食物アレルギーのある子どもについて、保護者の要望に応じて医師の指示書に基づく対応がされているか	○			契約時、アセスメントで必ず確認し、必要に応じて適切な対応をしている
	④8	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			事例集は作成していないが、これまでの発生した内容の綴りにより共有している